

放課後等デイサービス 夢門塾戸塚原宿 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要と思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾戸塚原宿

公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・活動の際は机を移動させながらスペースを作っている。	適切なスペース確保に引き続き努めてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・利用者数によって調整している。	児童発達支援管理責任者が不在の期間がありますが、職員を増やして対応してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・建物の構造上段差があるが、つまづかないように目立たせている。	環境上の配慮に引き続き努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日、子供たちと一緒に清掃を行っている。その後、気になる箇所があればもう一度掃除をしている。 ・加湿器や除湿器、窓を開けている。	心地よく過ごせる環境づくりのため、掃除に引き続き努めてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・必要に応じて、相談室を使えるようにしている。	相談室が利用しやすい環境づくりに引き続き努めてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・スタッフで話し合いを行っている。	これからも話し合いを重ね、より良い支援につなげてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・アンケートを取り、それを職員間で共有している。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・活動などの話し合いの際に、みんなで意見を言い合い改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	・第三者、訪問者等にいただいたご指摘やアドバイスをされた際には、改善に努めている。	トップダウン中心のため画一的になりやすいが、柔軟な対応に努めてまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・全体研修などで受講している。	これからも多くの研修に参加できるよう努めてまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・適切に作成し、公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・面談で保護者様のニーズを聞き反映させている。 ・お子様にも個々で課題やこれからしたいことなどを聞き取り入れている。	課題が生じた際には、スタッフ間で連携を密に行い、これまで同様、真摯に取り組んでまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・スタッフ全員が意見を出し合いながら計画を作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・サービス提供記録に記載したり、スタッフ間で情報共有している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・月末に職員間で話し合いを行って決めている。	今後も継続して、より良い支援プログラムの作成と実施に努めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎月、活動がかぶらないように多様な支援を考えている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・個別活動と集団活動を組み合わせて行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日、昼礼の際に支援内容や役割分担について共有し、連携して支援を行っている。	安全第一でスタッフ間の連携を取りつつ、取り組みを継続してまいります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・活動についての反省や改善点などがあれば話し合いをしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・毎日、サービス提供記録や日誌を書き支援の検証・改善につなげている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・定期的にモニタリングをし、見直しを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・ガイドラインに沿って組み合わせて支援を行なっている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・自己選択ができるように悩んでいる際は、時間を取ってあげたり等を行い、自己決定することができるように努めている。	活動時間に制限があるため、十分に悩む時間を確保できない場合もありますが、時間内で可能な範囲で考える力を育てるよう工夫してまいります。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・管理者が出席している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・学校と送迎時に情報共有をしている。	一部の学校への共有が十分でないため、今後も積極的に共有してまいります。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・適宜学校と連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5		前例はないものの、これまで児童発達支援事業所で得た知見を把握しており、現在は十分に情報共有ができていませんが、今後は関係機関や職員間で適切に情報共有できるよう努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		前例はありませんが、現在は障害福祉サービスへの移行事例がないため情報共有は行っておりません。今後、移行するケースが生じた際には、適切に情報提供・共有ができるよう努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		現状では関係機関との連携が十分に取れていませんが、今後は適切に連携できる体制づくりに努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこともと活動する機会があるか。	3	4	・公園で行っているイベントに参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		時間が合えば参加できるよう努めていますが、開催時間帯が遅いため参加が難しい場合もあります。今後は可能な範囲で参加機会を確保できるよう工夫してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時や面談の際に、課題について説明している。	保護者様とのやり取りを引き続き大切にしております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・ご家族からのニーズに寄り添えるよう努めている。	現状、ペアレント・トレーニングは実施できていませんが、今後は実施できる体制づくりに努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約の際に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談の際に意向を確認している。	丁寧なヒアリングを引き続き心がけてまいります。
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・送迎時に説明している。	児童発達支援管理責任者が不在のため、現在は示しながらの説明が十分に行えておりませんが、今後は体制を整え、適切に説明できるよう努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・保護者様から相談があった場合は、スタッフ間で話し合い、助言と支援を行っている。	これからも保護者様に寄り添いながら、丁寧な関わりを心がけてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・保護者会を開催した際は、なるべく保護者同士で交流できるように会話ができる時間を多く準備している。	各家庭の状況や時間の都合により、予定の調整に時間を要する場合がありますが、今後できる限りスムーズに予定を組めるよう工夫してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・速やかに職員間で共有し対応している。	安全第一で、取り組みを継続してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・夢通信、夢だより、ブログ等で活動概要などを発信している。	発信内容を工夫し、多くの方に情報を届けられるよう努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・全体的に意識ができています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・視覚的にもわかりやすくするように配慮をしたり、個別で声掛けをしている。	これからも丁寧に関わりながら、児童や保護者様を支えてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・現段階では難しいが取り入れる意向はある。	これからも招待の機会を作れるよう取り組んでまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・職員間で共有をし、契約時に保護者様にもアナウンスしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・火事、地震等の災害発生に備えて避難訓練を行っている。	さまざまな状況を想定しながら訓練を行えるよう、検討と改善を継続してまいります。
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・アセスメントシートで確認できるように対応している。	万が一に備え、情報の管理や共有をしっかりと行ってまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・現在はアレルギーの子はいないが、調理活動の際なるべく乳、卵、ナッツ類は使わないように考えている。（メニューによっては使う事もある）生のままではなく、なるべく加熱してから提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全な教室であるよう日頃から物の配置について検討し、お子様を迎え入れている。 ・児童が頭をぶつけるおそれのある箇所には、衝撃吸収材を設置している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・万が一が起こった際の対応や流れなどを把握している。	取り組み内容を周知できるよう、引き続き努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・小さな事案でも検討・話し合いを行い、共有している。	次回にしっかりと活かせるよう、取り組み内容の振り返りと改善に努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	・虐待についての研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・契約の際に説明している。	対応があった際には記録を適切に残すなど、法令遵守を徹底しつつ、引き続き取り組みを行ってまいります。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き活動の内容が固定化されないように、職員間で話し合いを実施するように努める。 ・職員の配置を見直しを行い、送迎の際に添乗員が乗れるように努める。 						